



富士北まちづくり協議会だより

令和5年度 第2号

令和6年3月1日

発行：富士北地区まちづくり協議会
住所：富士市米之宮町 288
電話：0545-64-0099

**富士北地区まちづくり協議会
インスタグラム**

九九博士
富士北地区民生委員

玉ねぎ
収穫し

多くの方にまちづくり協議会の活動を知っていただけるように、イベント情報や活動報告を掲載しています。
是非、フォロー、いいねをお願いします。

FUJINORTH.OFFICIAL



ごで市長との行政懇談会について少しふれておきます。7月28日に予定されていた富士北地区の「市長との行政懇談会」が11月27日に開催されました。富士北地区からは3件の

ごで市長との行政懇談会について少しふれておきます。7月28日に予定されていた富士北地区の「市長との行政懇談会」が11月27日に開催されました。富士北地区からは3件の

ごで市長との行政懇談会について少しふれておきます。7月28日に予定されていた富士北地区の「市長との行政懇談会」が11月27日に開催されました。富士北地区からは3件の

**まちづくり協議会会長
金森 健司**

最後に私事となりますが、早いもので富士北地区まちづくり協議会会長に就任して2年が経とうとしております。中島新道町の三役に就任以来、富士北地区の「まちづくり」に関して足掛け15年の長きに亘り携わってきましたが、「まちづくり」には終わりがないと痛感させられました。富士北地区の「まちづくり」からは卒業させていただきますが、違った形で「まちづくり」に携わっていただこうと考えております。2年間、至らぬ私にて理解と協力を賜り誠にありがとうございました。

最後に私事となりますが、早いもので富士北地区まちづくり協議会会長に就任して2年が経とうとしております。中島新道町の三役に就任以来、富士北地区の「まちづくり」に関して足掛け15年の長きに亘り携わってきましたが、「まちづくり」には終わりがないと痛感させられました。富士北地区の「まちづくり」からは卒業させていただきますが、違った形で「まちづくり」に携わっていただこうと考えております。2年間、至らぬ私にて理解と協力を賜り誠にありがとうございました。

最後に私事となりますが、早いもので富士北地区まちづくり協議会会長に就任して2年が経とうとしております。中島新道町の三役に就任以来、富士北地区の「まちづくり」に関して足掛け15年の長きに亘り携わってきましたが、「まちづくり」には終わりがないと痛感させられました。富士北地区の「まちづくり」からは卒業させていただきますが、違った形で「まちづくり」に携わっていただこうと考えております。2年間、至らぬ私にて理解と協力を賜り誠にありがとうございました。

が1件、文書回答が2件という状況でした。文書で回答された2件は、①潤井川の水害対策について②富士北地区の幹線道路の今後の見通しについて、残り1件の当日回答分の「町内住民名簿の区役員（区長への提供

部会紹介

北翔まつり実行委員会 金森 健司

と仰る方々もいらっしゃると思いますが、それは文化祭の二環として文化祭の中で考えていった方がよろしいかと思っております。

第15回北翔まつりの来場者は2000人近くを数え、事故などもなく無事に終わることができました。関係各位並びにご来場いただいた皆様様に心より御礼申し上げます。

私自身も第8回大会から北翔まつりに携わることができ、翌年の第9回大会までは実行委員として実行委員長を補佐し、翌年第10回の記念大会及び翌々年の第11回大会で実行委員長を務めさせていただきました。残念なことには第12回と第13回はコロナの関係で自粛せざるを得なくなりました。令和4年の第14回大会は縮小開催となりましたが、模擬店出店者たちと来場者だけのごちんまるとした開催でした。久しぶりの開催ということもあり、来場者数もかなりの大人数となりました。開催できたこと自体が令和5年の第15回大会開催への弾みとなった感じがした大会でした。

6回もの北翔まつりを通じて思ったことですが子供たちは富士北地区にとっても日本にとっても宝物であるということです。大人になつた彼等が、小学生の時世代の子どもの頃に接していてもえるような北翔まつり「あつてほしいもの」です。

成人教育部会 小池 義治

「ふれあい文化祭」を10月28日(土)と29日(日)に開催しました。富士北まちづくりセンターを会場に、絵画、陶芸、書道、手芸、写真など各団体の作品を3階多目的室に展示、また、なかじま保育園・富士中央小学校の児童の作品を2階に展示しました。毎年、出展していただいている団体の他、初めて出展いただいた団体・個人もあり、多くの方に「ご来場いただき、活気ある文化祭となりました。

来年度以降も、改善を加えながら、文化祭を開催していければと思います。

猛威を振るっていた新型コロナウィルス

も下火となり、5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。それをきっかけに、今まで自粛・規制されてきた北翔まつりですが、協議会役員の中から「コロナ以前の状態近くまで戻してもいいのでは無いか」との意見が多く出され、中央小学校側とも活発な意見交換がなされた結果、校長先生以下教職員の方々のご賛同も得ることができ、第15回北翔まつりの開催が決定いたしました。

今までの北翔まつりと同様子どももまたに喜んでもらえる北翔まつりを目指し、取り組んで行くこととなりました。内容的には賛否両論ありましたが、北翔まつりは子供が主体を主眼に置いている関係で、役員を含め大人の皆さんはどうしてもそのサポート役に回っていただくことになってしまいました。自分たちが楽しむというよりは、子供さんに楽しんでもらう、そして喜んでもらう、そういう子供さんたちの姿を見て大人も喜び、そういうお祭りを見たいという気持ちがあります。

今回のアトラクションは4団体1個人とちょっと少ない感じもしますが、量以上に質の高い演技が多く、子供さん方を含め多くの方々に喜んでいただけたのではないかと思います。

北翔まつりは文化祭の二環としての行事ではありませぬ。まちづくりセンターを借りて練習している方々に、発表の機会があっても

「ふれあい文化祭」を10月28日(土)と29日(日)に開催しました。富士北まちづくりセンターを会場に、絵画、陶芸、書道、手芸、写真など各団体の作品を3階多目的室に展示、また、なかじま保育園・富士中央小学校の児童の作品を2階に展示しました。毎年、出展していただいている団体の他、初めて出展いただいた団体・個人もあり、多くの方に「ご来場いただき、活気ある文化祭となりました。

来年度以降も、改善を加えながら、文化祭を開催していければと思います。



部会紹介

福祉部会



影山 健隆

富士北地区福祉推進会では、今年度も地域の住民の福祉向上を目指して取り組みました。多くの方々が協力参加してくださって有り難く思っています。今年度も取り組んだ声掛け見守り活動（声掛けネット）やふれあい配食事業は、「コミュニケーション」を通して一人暮らしの高齢者を孤独にしないためにも成果がありました。このようなコミュニケーション活動こそ相互扶助をする上で大切だと思っております。



交流事業として地域の老人会やサロンのボッチャを楽しむ人々です。

福祉講演会は、富士北地域包括支援センターの藤田圭子さんを講師に介護保険について行いました。必要になった時に役立ってほしいと思っております。また富士北

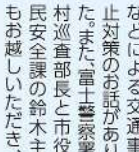


交通安全部会



遠藤 康浩

11月22日（水）に、65歳以上を対象にしたシルバー世代向け交通安全教室を開催し、35名の方にご参加いただきました。当日は講師として、交通安全指導員の夏目様と丹澤様をお招きし、夏目様からは、歩行者のアイコンタクトによる横断の意思表示や、運転者のハイビーム活用などによる交通事故防止対策のお話がありました。また、富士警察署の田村巡査部長と市役所市民安全課の鈴木本幹にお越しいただき、田村



巡査部長からは、富士北地区で多い交通事故の特徴などの説明。鈴木本幹からは、夜間外出時に使用する反射バッドの配布と使用方法の説明がありました。後半は機材を使い、俊敏性の測定を体験しました。



環境部会

10月14日（土）に富士中央小グラウンド北側の濁井川土手の草刈り作業を行いました。当日はまちづくりセンターの植木の刈込みも行い、1時間あまりの作業でしたが、とてもきれいにすることが出来ました。



遠藤 康浩

保健体育部会



杉本 圭

各町内役員やスタッフの負担が大きかったこれまでの地区体育祭に代え、負担軽減の観点から企画した「富士北地区スポーツフェスティバル」を、昨年10月1日（日）に開催しました。輪投げやストラップアウトなど、子どもからお年寄りまで気軽に楽しめる種目を設けたことから、参加した皆さんから「とても楽しかった。」とのお声をたくさん頂き、午前中だけの開催にも関わらず約300名の参加者を得られ盛況に終えることができました。また来年

防犯部会



遠藤 篤

北翔まつりにおいて防犯部会推進員と関係団体の皆さんとの協力により会場および周辺の巡回パトロールを行いました。参加してくれた皆さんは、各町内での出店など役割もある中で大変だったと思います。中央小児童や地区住民が多く来場しました。



防災部会



遠藤 篤

富士北地区防災会議を8月28日（日）にまちづくりセンターで行いました。市防災危機管理課安藤主幹から「濁井川逃げどきマップの活用、逃げ遅れゼロ、死者数ゼロを目指す」の講義を行いました。富士市の大雨による浸水状況や西日本豪雨による倉敷市の被災状況など映像を交えて説明いただきました。地図で示された浸水リスクに、緊急避難場所や避難経路など口頭から家族で共有しておくことが有効であり、避難時の隣近所への声掛けも大切であることを再認識しました。災害が起きては困りますが万が一の漏り頃より準備はしておきたいと思



構成団体紹介

スポーツ推進員



柴田 恵子

まちづくり単位で中央小の小学4年生から6年生を対象に、少年教育講座「動く」をテーマに10月21日（土）の午前中、富士北まちづくりセンター多目的室で、ドッチボール教室をおこないました。ドッチボールとはとても安全で、当たってもケガもしない、痛い思いもありません。しかし、スピードも入りもカーブスローも自在に

民生委員



末包 正秀

かつて防災関連の講演会で県の担当者がしゃべっていました。「自助、共助、公助」という言葉があるが、公助が機能するのは災害が発生から週間、十日経過してから、一番大事なのは共助、ご近所です。私は民生委員になって10年になりますが、妻にその通りだと思います。今年もまちが、あるとき町内の女性から「○○さん、高齢一人暮らしと出かける約束をしたが出て来ない。チャイムにも出ない」と担当民生委員の私に電話がありました。私はその方の緊急連絡先に連絡を取ると同時にその方の家に向かいました。果たして○○さんは倒れていて救急車を呼び、命をとり返しました。見守り、助け合い、近所こそ大切だと思います。

ジュニアリーダー

富士中央校区ジュニアリーダーとして、現在6人の中高生が在籍しています。ジュニアリーダーは、子ども会会員の良き友であり、お姉さんであり、話し相手です。子どもたちの意見を大人の世話人に伝えたり、世話人の考えを子どもたちに伝える橋渡しと、次のリーダーを育て指導するといった大切な役割を持っています。ジュニアリーダーは、①子どもたちの良き友であり、お姉さんであること。②子どもが大好きで、いつもみんなと一緒に行動し、喜び楽しむことができる人であること。③様々な講習会を受講したジュニアリーダーは、子ども会のイベントや富士市内のお祭りの運営、手伝い、未来のジュニアリーダーの育成に力を注いでいます。



スローガン

住んでよかった あたたかいまち富士北